

FILLING LIMITER



Lafon



給油所防災に新たな戦力、オーバーフロー防止装置!

フィリングリミッター

PAT.

ラ・フォン/フィリングリミッターは、給油所でタンクローリー車から地下タンクへ荷卸を行う際、オーバーフロー事故を未然に、しかも自動的に防止する装置です。油面があらかじめ設定されたレベルに達した時点で、自動的に特殊弁が閉じます。

ローリーホース内や埋設配管内の滞留油は、安全かつ確実に地下タンク内へ流入するシステムになっています。

特長 [消防法危政令適合品]

- オーバーフロー事故を未然にかつ自動的に防止するので安全な荷卸し作業が行えます。
- 過剰注入防止装置の適合品(消防法危政令適合品)ですので、安心してご採用頂けます。
- 本装置はタンク内への挿入時、フロート部分がドロップパイプ内部に納まる特殊構造となっており、タンク挿入後、フロートは自動的に突出し、オーバーフロー監視状態になります。また、管の絞り部分がまったくないため、荷卸し所要時間が阻害されません。
- 本装置作動時におけるタンク内への圧力はまったくかかりません。

- 欧米等での豊富な実績を基に長年のノウハウを結集させて本装置内部の流体効率を最大限に高めていますので、荷卸しがスムーズに行えます。
- 機構はきわめてシンプル、かつ堅牢ですので、メンテナンスの必要がありません。
- 弁の作動および復帰はすべて自動的に行われるため、荷卸し時における操作は何ら必要ありません。

Hi-Touch & Hi-Tech
SKK



ふくおか
官兵衛くん

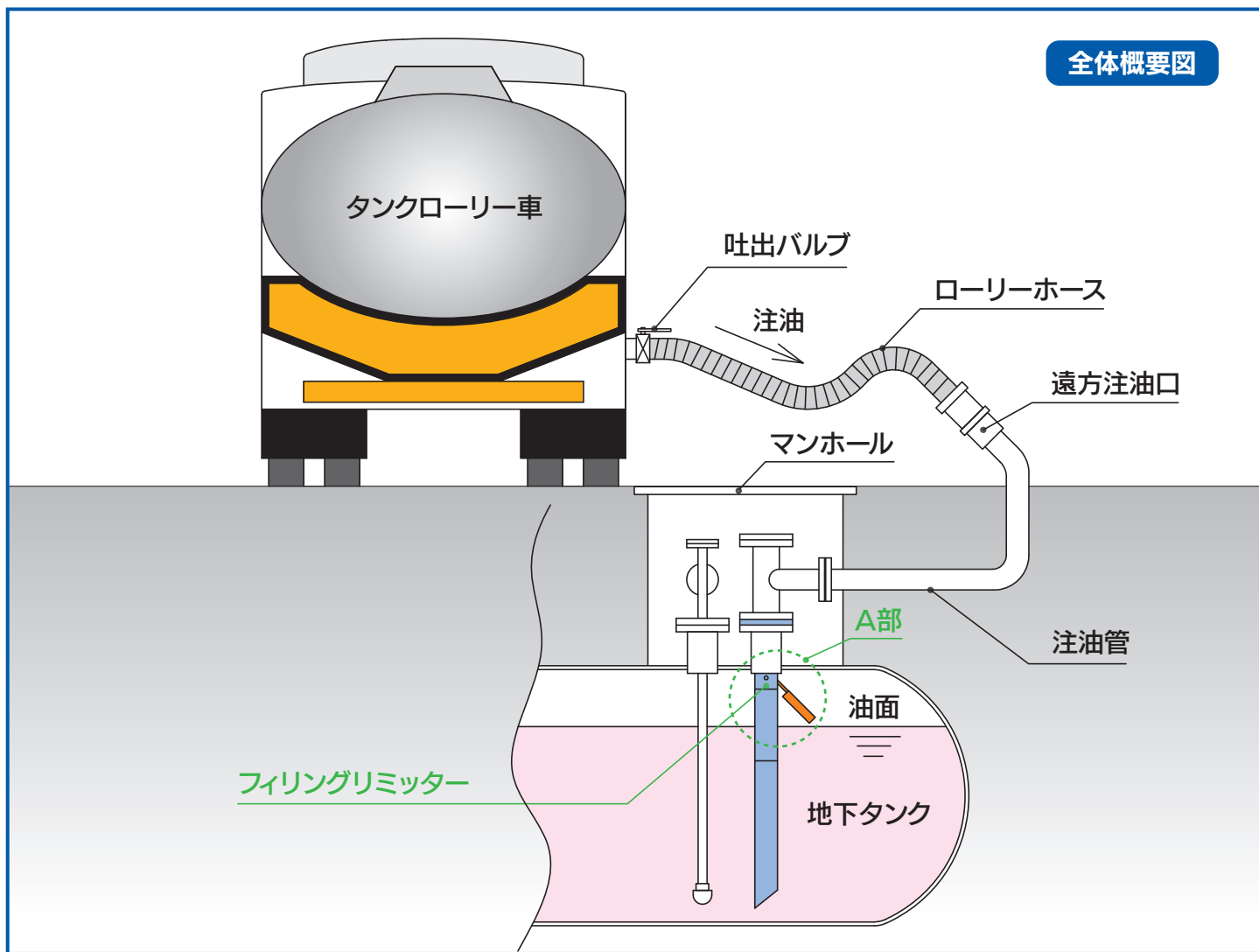
給油所防災に新たな戦力、オーバーフロー防止装置!

フィリングリミッター

PAT.

消防法危政令適合品
日本総輸入発売元

SKK

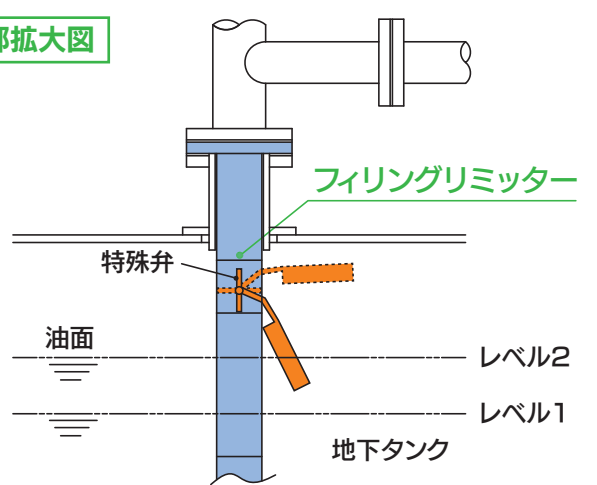


全体概要図

システム概要

1. 油面が設定「レベル1」以下の場合、特殊弁は開いた状態になっています。(右図)
2. 荷卸しにより、油面が設定「レベル2」に達した場合、特殊弁が自動的に閉止し、タンク内への注油(荷卸し)が停止します。(右図)
3. ローリーホースおよび注油管内の残留油は、タンクローリー車の吐出バルブを閉止した後、本製品の圧逃がし弁を介してタンク内に微量注入されます。
4. 注油管内の圧力が低下した時点(約1分間)で特殊弁が自動的に開放し、残留油は全てタンク内へ注入されます。

A部拡大図



信頼と技術で未来へ
昭和機器工業株式会社

■営業本部/〒152-0002 東京都目黒区目黒本町2丁目9-5 TEL.03-3716-5777(代表) FAX.03-3716-2384
■本 社/〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目33-32 TEL.092-431-5131(代表) FAX.092-431-3851

東京支店 / TEL.03-3716-2391	大阪支店 / TEL.06-6399-0515	金沢営業所 / TEL.076-292-1612	松山営業所 / TEL.089-958-9261	沖縄営業所 / TEL.098-878-6068
横浜営業所 / TEL.045-301-9557	札幌営業所 / TEL.011-812-9528	岡山営業所 / TEL.086-243-3255	福岡支店 / TEL.092-431-1000	大宮工場 / TEL.048-663-9775
大宮営業所 / TEL.048-663-9775	青森営業所 / TEL.017-735-5222	広島営業所 / TEL.082-237-9231	熊本営業所 / TEL.096-389-8010	太宰府工場 / TEL.092-933-1775
名古屋支店 / TEL.052-411-7782	仙台営業所 / TEL.022-239-6626	高松営業所 / TEL.087-834-7555	鹿児島営業所 / TEL.099-252-5861	福岡工場 / TEL.092-431-2398

警告

- 本製品の故障の発生を考慮して、事故や損害などに対する冗長設計などの安全設計ならびに安全対策をお願いいたします。
- 本製品の使用あるいは不具合に起因もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- このカタログに掲載されている仕様・デザインなどは、予告なしに変更する場合があります。

[SKKホームページ] <http://www.showa-kiki.co.jp>



カタログNo.416 25C010C